

第8号
令和4年10月7日発行

自主学習通信



～引き出せ！子どもの力！！～

《目次》

P1 「さらなる取組の充実に向けて」

第2教育ブロック代表 大畠 和彦 都島区担当教育次長

P2 令和4年度 第1回自主学習推進チーム会議

P11 「充実期」「発展期」における自主学習習慣の確立に向けた取組について

大阪市立関目小学校長 石井 力

大阪市教育委員会事務局
第2教育ブロックグループ

さらなる取組の充実に向けて

先日、令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。大阪市全体の学力も、少しずつ全国平均に近づいてきました。

とりわけ当第2教育ブロックでは、中学校国語が0.99（全国比）と全国平均まであと一歩でしたが、昨年度（0.98）より向上してきています。

小学校の国語と算数及び中学校数学は1.02（全国比）又は1.03と全国平均を上回っています。

これも先生方の日頃の授業をはじめ、自主学習の推進に、ご尽力いただいた賜物とあらためて感謝申し上げます。

来年度は小中学校のすべての教科で全国平均を上回れるよう、頑張っていきましょう。

さて、自主学習ノートですが、今回の通信に掲載のアンケート結果の通り、「自主学習をすることで勉強時間が増えた」と回答する児童・生徒が70%を超え、自主学習ノートがかなり根づいてきた結果だと思われます。

自主学習をすることで、授業内容がわかるようになったと肯定的に回答された児童・生徒は伸びているものの、さらなる伸びを期待したいところです。

そのためにはやはり「授業と連動した自主学習」というのが、今後の自主学習を推進していく上で、大きなテーマになってくると思います。

なんといっても先生方の中心業務は「授業」に他なりません。自主学習が授業と連動してくることにより、児童・生徒は自主学習習慣の確立と同時に授業理解が深まります。さらに、授業理解が深まれば、児童・生徒の授業への集中力が高まり、学力向上はもちろん、授業のスムーズな展開ができ、先生方の授業に対するモチベーションアップにもつながり、良いことばかりであると大変期待しています。

今回、授業と連動できる自主学習の事例や1人1台端末を使った自主学習を通信の中でご紹介しています。是非、参考にしてみてください。

これから実りの秋を迎えます、4月から先生方が取り組んできたさまざまな成果が、徐々に出てくる楽しみな時期でもありますね。

先生方のこれからますますのご活躍を祈念しています。

第2教育ブロック代表
都島区担当教育次長
大畠 和彦

令和4年度 第1回自主学習推進チーム会議



令和4年7月4日(月)に第1回自主学習推進チーム会議を行いました。

会議では主に、昨年度に第2教育ブロック各校にてご回答いただいた「令和3年度自主学習に関するアンケート」の結果から、特徴的な傾向についての共有と、昨年度までの自主学習推進チーム会議で話し合われた内容をもとに、さらに児童生徒の自主学習習慣の確立に向けた取組を推進するための協議を行いました。それでははじめに、「令和3年度自主学習に関するアンケート」結果についてご紹介します。

令和3年度自主学習に関するアンケート結果について

まず、自主学習が家庭での学習時間に及ぼす影響について問う「自主学習をすることで、勉強をする時間は増えましたか。」の質問に対し、どの学年においても70%以上の児童生徒が「自主学習をすることで、勉強をする時間が増えた。」と回答をしたことがわかりました。特に、学習習慣を身につけるべき低学年において、自主学習が、大きな役割を果たしていることが明確になりました。

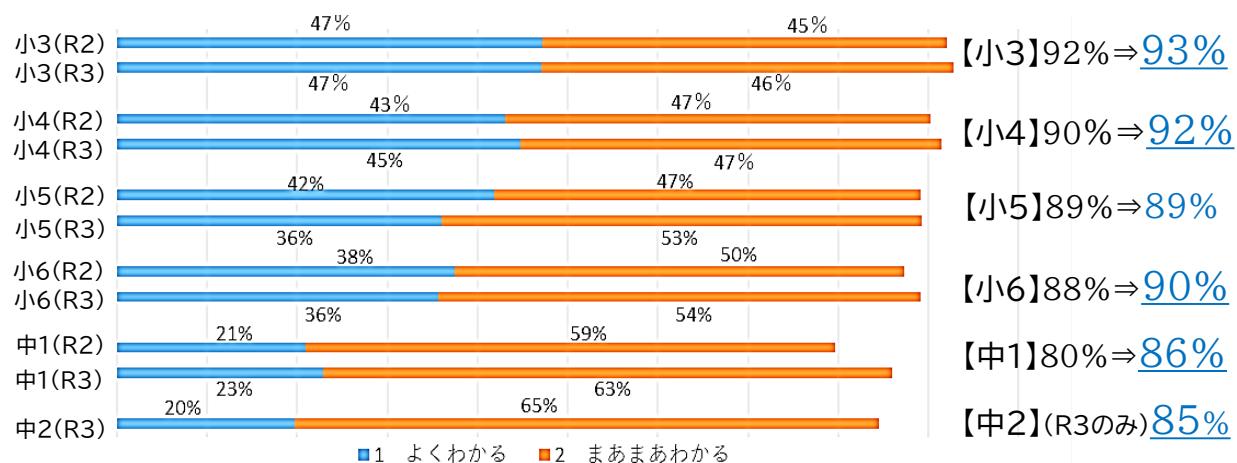
自主学習をすることで、勉強をする時間は増えましたか。



他の質問項目でも、自主学習の効果について「自主学習をすることで、授業内容がわかるようになった。」と肯定的に回答をしている児童生徒の割合が、前年度と比較して増加傾向にあることがわかりました。

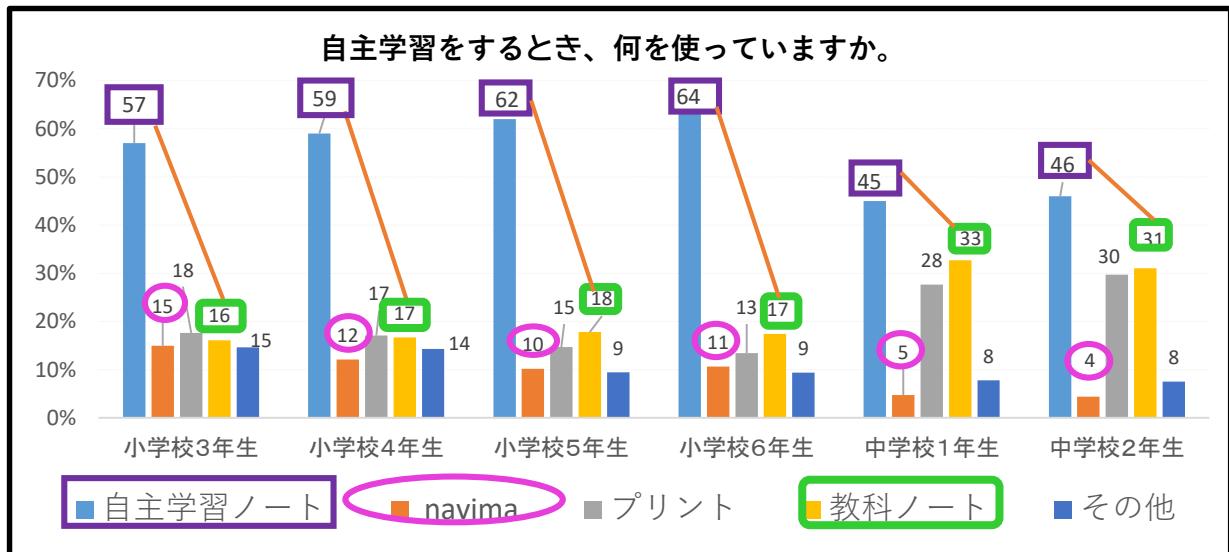
自主学習をすることで、授業内容がわかるようになりましたか。

◎肯定的回答の割合



この結果はこの2年間、各校で自主学習ノートの活用をはじめ、児童生徒が意欲的に取り組めるよう工夫をこらしてきていたい成果ではないかと考えられます。

また、「自主学習をするとき、何を使っていますか。」の質問に対し、どの学年でも70%以上の児童生徒が自主学習にノートを活用しているという結果が出ました。小学校では「**自主学習ノート**」を活用する割合が高く、中学校では「**自主学習ノート**」以外にも「**教科ノート**」を活用する割合が高いという違いはあるものの、ノートが自主学習のツールとして児童生徒にしっかり定着していることがわかりました。



一方、ノートの活用率に対して、navima等デジタルドリルの活用率は低い状況です。

今後さらに自主学習習慣の確立に向けた取組を進めていくにあたり、児童生徒が「**学びたい学習を自分で選択できること**」「**目的に合ったツールを自由に選択できること**」が重要であるとの認識のもと、様々なツールの活用の仕方についてさらに検討していく必要があると考えられます。

次に、昨年度までの自主学習推進チーム会議でも話し合われた、「自主学習の充実期、発展期における取組」「自主学習における1人1台端末の活用」についてさらに研究を進めるため、次の2つのテーマを設定し、協議しました。

1つめのテーマは、

「授業で、自主学習の“種”をまこう!」

とし、「子どもたちが自主学習に取り組むきっかけ(=自主学習の“種”)」を、教師が授業の中で意図的に作っていく(=“種まき”をする)ための、具体的な手立てとその良さについて協議しました。

2つめのテーマは、

「自主学習で、もっと使える!もっと学べる!! 1人1台端末」

とし、「1人1台端末の自主学習での有効活用」について、1人1台端末の“機能”と“ソフト”にはどのようなものがあるのか、それらをどのように活用するのかについて協議しました。



(1) Aグループ テーマ「授業で、自主学習の“種”をまこう！」

- 先生が児童生徒へ「(授業と関連して)自主学習でこんな取組ができるね。」と提案したり、授業の導入場面で、児童生徒の自主学習での成果を取り上げて紹介したりすることで授業と自主学習の相乗効果が得られる。
- 先生が児童生徒へどのような“種まき”ができるのかを、学校全体で共通理解する機会をつくることで、先生方の“種まき”への意識も高まると考えられる。
- 「教科の特徴を生かした“種まき”(次ページ以降の具体例参照)」をすることで、授業で学んだ内容と児童生徒の興味関心が結びついた形で、自主学習に取り組もうとする動機付けができるのではないか。
- 児童生徒の自主学習を掲示したり表彰したりすることで、お互いの自主学習の内容を知り合うことができ、さらに自主学習に取り組むきっかけづくりができるのではないか。

(2) Bグループ テーマ「自主学習で、もっと使える！もっと学べる！！一人一台端末！」

- 一人一台端末の録画機能を活用して、児童が、自主学習としてリコーダーを吹いている様子を録画したものを見せて共有した。学級の児童の意欲関心が高まり、より深い学びにつながった。(小学校)
- 指導者用端末の録画機能を活用して、英語の発音を先生が見本として撮影し、学習動画として生徒の端末に送って共有することで、自主学習のきっかけをつくることができた。(中学校)
- 「Teams」アプリを活用して、長期休業期間中に質問を受け付ける機会を作ったり、校内の自習室がいつ開いているかを知らせたり、確認テストを配信したりしている。(中学校)
- 端末を活用した自主学習についても、評価の仕方を考えていくことが大切である。(小学校・中学校)

また、関目小学校 石井校長先生からは、今回のテーマに関わって『「充実期」「発展期」における自主学習習慣の確立に向けた取組について』と題した資料をご紹介いただきました。自主学習を学校全体の取組していくポイントや、自主学習における教師自身の役割やねらいについてわかりやすくまとめてくださっています。(11ページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。)石井校長先生、お忙しい中資料のご準備ありがとうございました。

大畠第2教育ブロック代表より

「教科の特徴を生かした“種まき”」とは、例えば算数や数学のように「個のペースに応じた反復的な自主学習」、国語のように「自分の考えや思いを深める思考型の自主学習」、社会のように「興味を広げて調べる探究型の自主学習」等に整理できると考えられます。それらを先生方が意識することで、より効果的に授業と自主学習をつなげていくことができ、結果的に授業等での児童生徒の学びがさらに深まることが予想されます。今後は宿題のボリュームを抑えながら、自主学習の割合を増やしていくイメージを持つと良いのではないでしょか。児童生徒は、宿題で、先生方が考える「これだけは定着させたい」学習内容に取り組み、他方では、自主学習で、「興味関心に基づいた学習」を進める。このような学習の進め方こそが、「誰一人取り残さない」という大阪市の方針と合致していると感じています。

推進チーム会議でいただいたご意見をもとに、事務局より、自主学習の例を
次ページ以降で提案するでござる!!



テーマ①「授業で、自主学習の“種”をまこう！」

♂ 学びを定着させる反復型の自主学習 ♂

例1：「振り返り！」で“できる”を増やす自主学習

国語では…

1.13.木 ←①日付を書く。②めあて書き
15 00-15 30 國字にむけてふくしゃうじょう

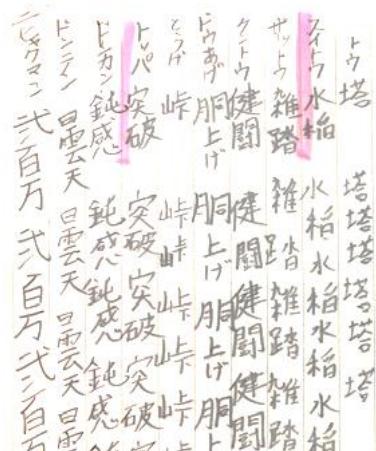
画市用戸歌店市
用町・
紙村用雨歌店市
戸う頭立

小テストで間違った漢字や苦手な問題をノートに練習する。
自分で「再テストコーナー」をつくって、何点取れたかを記録し、振り返りながら自主学習を進める。

(←鴨野小学校・児童の自主学習ノート)



！中学校では、定期テスト前に自主学習【テスト勉強】をする形式もOK！ →



例2：「まとめる！」で定着させる自主学習

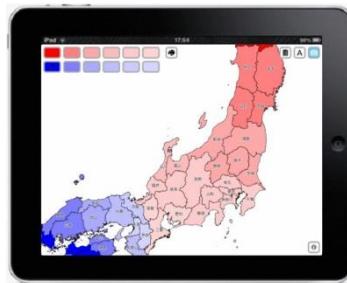
社会では…



授業で学んだ内容をイラストや図などを用いてノートにまとめる。

色分け作業を自分ですることで、より理解が深まる。

(←鯫江東小学校・児童の自主学習ノート)



□一人一台端末で地図の画像を確認しながら学習することもできる。

♂種まきのコツ♂ 児童生徒の習熟度から「どのようなテーマ・内容なら自主学習で取り組めるのか」を見極めよう！

★反復型の“種”は他にも…

- ・計算の復習、公式の整理(算数科・数学科)
- ・生き物や器具の名前(生活科・理科)
- ・音符や記号を覚える(音楽科)等
- ・人物や地名を確認(社会科)
- ・英単語の練習(外国語科・英語科)

考え方や思いを深める思考型の自主学習

例1：「授業に直結！」で“相乗効果”が生まれる自主学習

国語では…

教科書の写真を使った自主学習

児童のノート例



東京書籍 国語 小学校3年下
「パラリンピックが目指すもの」より引用

ぼうがあるよ。

タッピングバーってこれかな？

ぼうの先が丸くなっている。
カバーかな。

ゴールするときや
かべに近づいたときには、ぼうを使って
知らせると思う。
⇒ルールのくふう

«取組例»

自主学習で、教科書の写真や絵からわかるることを自由記述する。



気付いたことを何でも書いてごらん！

自主学習で写真をじっくり見る時間をとろう



3年生の国語科 説明的文章「パラリンピックが目指すもの」(東京書籍3年下)では、たくさんの写真やイラストが使われています。写真やイラストが多いのに意図があるはずです。

そこで、これらの写真やイラストを自主学習で使ってみてはどうでしょうか。

左の吹き出しのように、自主学習で子どもたちが写真を見て、自由に考えを書きます。

自主学習で、じっくり資料を見ることにより、読解をさらに深め、その成果を学校での学習に活かします。このようにして、自主学習と授業を連結させることができるのでないでしょうか。

算数では…

教科書の挿絵を使った自主学習

«取組例»

「数のまとめり」を見つけたり、「問題づくり」に取り組んだりする。



日本文教出版 算数 小学校4年下
「どんな計算になるか考えよう」
より イラスト引用

魚がぜんぶで6匹。1匹120円にしよう!

1箱に12こりんごが
入っている。
5箱あるから…



かけ算の問題ができるよ！

自主学習で、左の図のように、「数のまとめり」に着目して丸で囲む活動や、問題作りを促してみてはどうでしょう。

自主学習で、問題場面を自らイメージするのです。イメージから、児童が自分の見通しをもって問題解決に向かう「主体的な学び」を促します。絵や図、数学的表現や既習の用語を使って、自分なりにノートにまとめていきます。

子ども自身が楽しみながら『数量に親しむ活動』に取り組み、数学的活動を自立的に、自然な形で積み重ねることによって、授業につながる自主学習が実現できるのではないかでしょうか。

！低学年での実践例！
身の回りのものから…



問題コーナー!!

りんごが、1箱に12こ入っています。
5箱買うと、りんごは何こになりますか。

身のまわりで、
かけ算の式を
使って表せるも
のを探し、ノート
にかく

自習学習コーナー

児童のノート

みのまわりで見つけたかけ算
・きょうしつのつくえといす
35人分
・たまごのパック

6こり 0 0 0
0 0 0
1
2

・ティッシュ

・プリン
3
4
5

例2：「自分ならこうする！」を深める自主学習

体育では…

	技の名前	でき具合
1	前転	できそうだ
		できた
		いつでもできる
2	開脚前転	できそうだ
		できた
		いつでもできる

マット運動で習得した技を自分で組み合わせ、マイ連続技のプラン表を作成する。
(例:自分ができる技を4個つないで、順番やつなぎ方について考えてみる。)
単元のまとめで発表会を行い、お互いの演技を見せ合うこともできる。



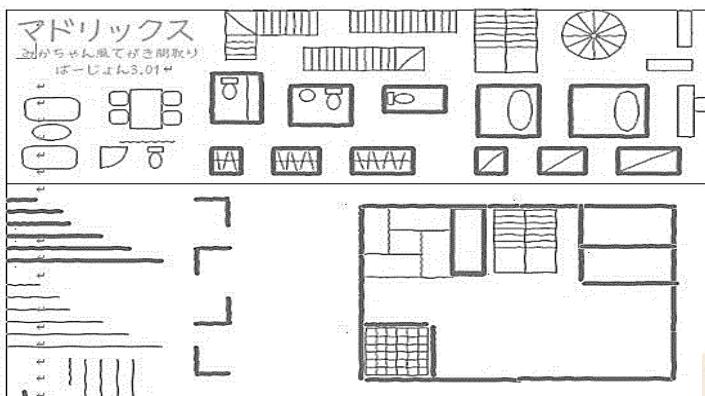
↑ 技のつなぎ例

1人1台端末の有効活用

□1人1台端末を活用し、お互いの技を撮影することで、自分の演技を確認することができるね!

技の例：側方倒立回転→Y字バランス→跳び前転→前転

家庭科では…



住生活に関する学習のまとめとして、「自分なら快適に住むことができると思う家・間取り」について考える。



1人1台端末の有効活用

□1人1台端末を活用することでレイアウトや変更がスムーズにできるね!

↑間取り無料作成ソフト「手書きマドリックス」

『種まきのコツ』 **自主学習での学びと授業での学びを“往還の関係”と捉え、まずは、自主学習での成果を授業で生かす機会をつくることから始めよう！**

★思考型の“種”は他にも…

- ・図表の比較から気づいたことをまとめる。
- ・登場人物の行動に対し自分ならどうするかを考える。
- ・学習した言葉を使った例文を自分で考える。
- ・学習した解き方を使った問題を自分で考える。
- ・学習した技能を生かしたパフォーマンスを考える。(ダンス・リコーダー・絵画等の表現活動)

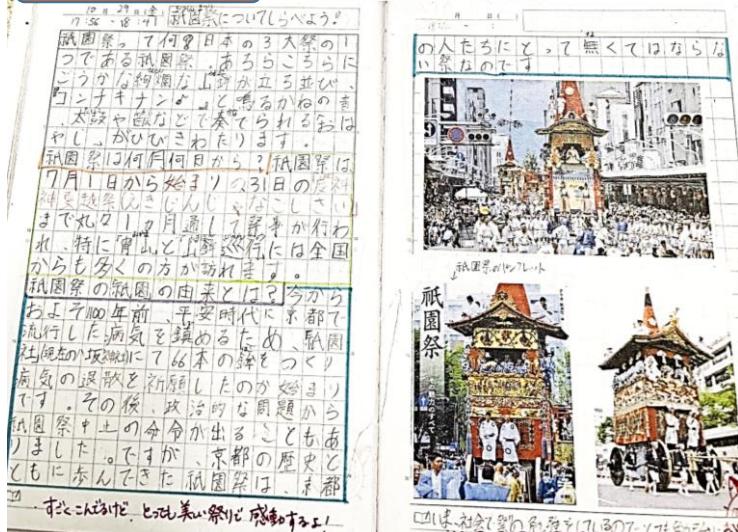


◆自主学習の内容をグループで相談したり交流したりする活動にもつながる◆

興味を広げて調べる探究&選択型の自主学習

例1：「もっと調べたい！」探究型自主学習

社会では…



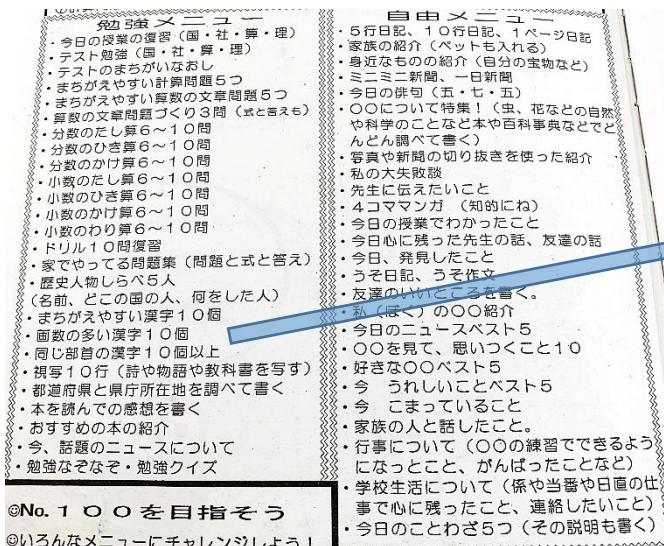
小学校社会科4年で学習した
「地域で受けつがれてきたもの」
を発展させて、さまざまな地域の
祭りについて調べてみる。
(←写真は関目小学校の児童がまとめたもの)



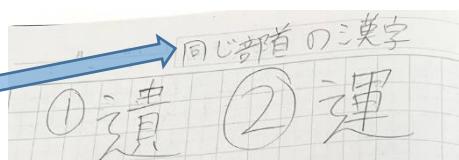
1人1台端末を活用
することで詳しい内容
を調べることもできる。

例2：「これをやってみたい！」選択型自主学習

国語では…



授業で学んだことから、
どのメニューの自主学習に
取り組めそうか自分で
あてはめてみる。



同じ部首の漢字を10個探すメニュー

★勉強メニュー=学習に直接生かせるメニュー
★自由メニュー=自分がワクワクして取り組める
ような楽しいメニュー



(鳴野小学校の
自主学習ノート)

種まきのコツ 学習のきっかけをつくったり、選択メニューを設けたり
することで、児童生徒が「自分で決めて自主学習に取り
組める」機会につながる種まきをしよう！

★探究型の“種”は他にも…

- ・言葉や漢字の由来を調べる。(語彙力の向上)
- ・学習した教材の筆者が記した他作品を紹介する。
- ・学習事項の覚え方を自分で考える(例:替え歌・語呂合わせ)。
- ・なぜ、そうなるのかという原理について詳しく調べる。

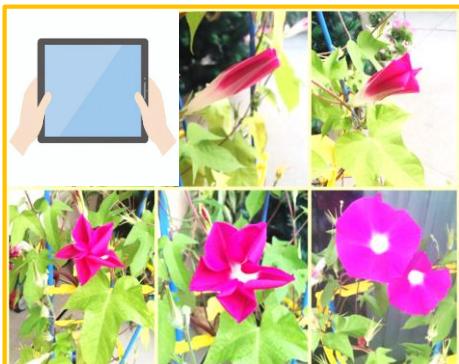


自主学習で取り組んだことが認められる機会をつくると好循環が生まれる！

テーマ②「自主学習で、もっと使える！もっと学べる!! 「人」台端末！」

活用事例①：『撮影・録画機能』で「もっと使える！」「人」台端末！

生活科・理科では…



夏休みなどに「自分の好きな植物」を家庭で育てる自主学習。成長の様子を写真機能を活用して記録する。
「花が5輪咲きました。」「実が10cmになりました。」といった文章を入れることもできる。応用して「夏を感じる自然の様子」を撮影して記録することもできる。休み明けにお互いの作品を紹介し合う授業にも結びつけられる。



音楽では…



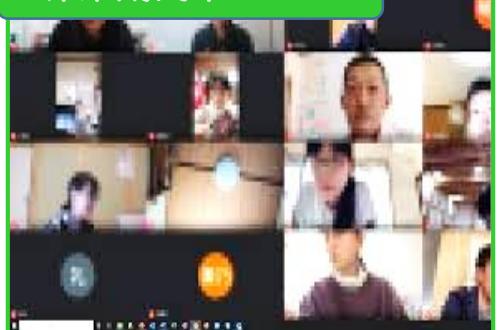
先生が見本としてリコーダーを吹いている動画を撮影して端末に配付する。児童生徒がリコーダー練習を家庭で行う様子を撮影して提出する。(感染対策や欠席・休校の際にも実施可能)

授業でお互いの動画を共有することもできる。(児童生徒に事前の許可が必要)



活用事例②：『オンライン通信』で「もっと学べる！」「人」台端末！

休業期間中では…



夏休みなど長期休業期間中に、Teamsを接続している時間を設ける。質問を受け付けたり、自習室がいつ開いているかを知らせたり、確認テストを配信したりすることができる。

長期休業中に気になる児童生徒の様子をオンライン通信で知ることもできる。



デジタルドリルでは…

自分のベースで解き進められる
「マイドリル」



デジタルドリル**«navima(ナビマ)»**では、「マイドリル」=国語(読み解・漢字)・算数/数学・理科・社会・英語を学習できる。



自主学習で考えた答えは「回答確認ボード」を活用し、授業で共有することもできる。

子どもの思考がひと目でわかる
「回答確認ボード」



「充実期」「発展期」における自主学習習慣の確立に向けた取組について

□各教員の実践□

- ・まずは宿題としてスタート、提出日を設定
- ・教員間での情報交換
- ・先輩教員から効果的な取組の助言
- ・児童の作品をファイリング
- ・児童生徒の相互交流の場の設定
認め合い、参考にし合い等の児童間の交流
→ 自主学習へのアイデアや意欲付けに
- ・自主学習ノート以外に端末の活用



□児童の実態(一例)□

- ・宿題や課されたことに取り組める
- ・自分から進んで取り組むことにはまだ課題がある
- ・帰宅してからの時間的な余裕がない児童もいる
- ・自分の考えをまとめる、伝えることが苦手
- ・友だちにアドバイスをするのも遠慮がち
- ・自己肯定感が低い
自信がない 失敗をおそれる たくましさに課題
- ・あまり目立きたくない
- ・でも、認められたい、ほめられたい思いがある



□自主学習に取り組む児童の姿や育ちの様子□

- ・自主学習の仕方、進め方を各学年学級で定めて取り組み始めた
- ・授業で学んだことの発展、興味・関心等、自主学習の内容や工夫も児童それぞれ
- ・個々の児童に自主学習が定着しつつある
- ・自分なりに取り組んだことを認められる
- ・個人差がある(個人差はあっていい)
- ・児童自身が自主学習の仕方が身に付きつつある
- ・友だちから付箋でコメントをもらうのがうれしい
- ・学期末の表彰も意欲につながっている



□学校としての取組□

- (1) 運営の計画に掲げて教職員の共通理解を図る
 - 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」
 - 「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」
- (2) 共通に取り組むこと(一例) → 効果的な取組を、学校として共有化する
 - 児童が相互に自学ノートを見合える場の設定 背面黒板を利用した自学ノートの紹介
 - 自学ノート作りのルール(日付、取り組んだ時間、取り組んだテーマについてタイトルをつける等)
 - 自学ノート以外のリソース(自学に活用できるドリルプリントの準備、ICT機器の活用、新聞・読書等)
 - 自主学習ノートの購入 授業で自習学習をする時間を確保 ギャラリーウォークと付箋コメント
 - 子どものいいところに気付く、見つかる場 取組の可視化 点検のサインはシンプルに
 - 学校全体での表彰の場(学期に1回) 家庭への発信と協力依頼
- (3) 授業改善 ※自主学習にもつながる学習を日々の授業でも丁寧に取り組むことが大切
 - ①調べる…教科書や各種文書資料、統計資料、ネット検索
 - ②考える…まずは自分で考えることから
 - ③書く・まとめる…考えを書いて残す
 - ④伝え合う活動の充実…考えたことをもとに小集団・全体で話し合う → 学び方を学ぶ
 - ・授業での一言(自主学習への発展につながる一言、自己肯定感を育成するための称賛の言葉かけ)
 - ・授業と自主学習のつながりを意識する ※ただし、ありきではない
 - 授業から自主学習への発展 → 興味関心をもったこと、発展的な内容、追究したいことを追求する場
 - 自主学習から授業へのいかし方 → 自主学習の取組を授業で活用
- (4) 保護者への趣旨説明・お知らせ・協力依頼



□自主学習の充実に向けた「教師自身の役割」を再確認する□

- ・自主学習で何をねらうか → 自主学習習慣(学習意欲、自主的な取組、自立した学習)
- ・自己肯定感の育成 ・児童生徒同士をつなぐ ・児童生徒が自由に使える自学の素材を準備する
- ・学校でも自学の時間を設ける ・自主学習が進まない児童生徒への個別支援 ・ICT機器の活用